

第1回（仮称）碩田中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成24年8月28日（火）18：30～21：00

場所：アートプラザ アートホール

○出席者36名（内代理出席2名）、欠席者2名

1. 開会のことば

- ・玉衛教育部長より、開会に先立ってのあいさつ。

2. 出席者自己紹介

3. （仮称）碩田中学校区適正配置地域協議会規約（案）について

- ・（仮称）碩田中学校区適正配置地域協議会規約（案）について、教育企画課長より説明する。

【主な意見】

- ・大分市立小中学校適正配置基本計画に基づき、3小学校を統合するという前提でこの話し合いの場が持たれているので、私たち住民としては「統廃合である」と受け取っている。規約の名称に「適正配置」の文言だけでなく、「統廃合」の文言も入れるべきではないか。
- ・3校を統合し、発展的に1校に絞り、新設校を建設するというような前提で考えれば、どこかの学校が残り存続するという考えに繋がりがねないので、廃合という言葉は使うべきではないのではないかと。
- ・現実的に見たときに、3校を1校にすれば2校は廃校になるわけなので、廃校のまま放置するわけではないとは思いますが、その後の再利用とか再活動についても考えていかなければならないと思うので、やはり統廃合と直視したほうが適切だろうと思う。
- ・基本計画の中の目指すべき方向性と具体的方策では、「3校を統合し、新設校を建設することが望ましいと考えます。」とあるが、この協議会では3校の統合を前提とするのか、それとも2校統合も対象となるのか確認したほうが、スムーズに議論が進むのではないかと。
- ・教育委員会が策定した基本計画について、私たち住民にとっては納得いかない。まだ私たちだけかもしれないが、校区の住民はできれば3校ともに残れば良いなという気持ちが強いのではないかと。校区の実情から2校を残すこともよいのではないかと。
- ・基本計画に示された目指すべき方向性と具体的方策では、3校を統合し、新設校を建設することが望ましいとある。新設校の位置や小中一貫教育などについて、地域協議会において地元の合意形成を図りたい。
- ・規約の第2条に「協議会として意見を取りまとめる」とあるが、取りまとめた意見が教育委員会の施策に反映するなど、取りまとめた意見をどうするのか。また、意見がまとまらない場合でも29年度にはいずれかの小学校の敷地に新設校を開校するのか。
- ・基本計画に基づき、3校統合し新設校を建設することを基本に、地域協議会で十分な意見交換を行い、合意形成に努めた上で、個別の実施計画の策定に反映させていく。校舎の建築では測量、設計等3年間は必要な時期であり、計画上は29年度頃の開校を目指す。
- ・廃校によって、地域が地域の宝としての子どもを育てるといのが希薄になってくるとい

うデメリットがある。それぞれの地域に学校があったほうが良いという結論になった時は、協議会で話しあうことがなくなるという不安をもっている。

- ・この協議会の設置の目的が、3校を統合し新設校を創るということを皆さんで確認しないと協議が前に進まない。それぞれの立場や色々な思いがあり、譲れないこともあるかと思うが、おりるところはおりないと地域の合意形成はこれから進まないと思う。
- ・事前に規約の提案はなかったので、今日この規約を決めるべきではないと思う。それぞれの地域がばらばらで合意なるものができていない。一度地域に持ち帰って、地域の意見をまとめないと簡単にはこの場で決めていくことはできないと思う。
- ・この協議会の皆さんや教育委員会も、本当にこのままで、子どもたちが生きる力を養えるのかということをもう少し考えてもらいたい。どのような学校経営・運営を行えば、本当に良い方向に進むのか、その答えがほしい。
- ・大分市のリーディングスクール、小中一貫教育のモデル校となるような新設校を建設するが、この校区の子どもたちにとって、地域にとって、目指すべき方向性であるということで、基本計画を策定し、その前提に基づいてこの協議会を設置している。
- ・協議会として意見をとりまとめ、教育委員会で計画に反映させるということだが、委員の中に先生や教育委員会の職員も入っているので、現状と変わってどんな学校が良いのだろうかというような意見を出していただきたい。
- ・この協議会の中で、いずれかの団体が、地域の方や保護者の方が新しい学校像をある程度描けるような素案を早いうちに示していただきたい。この会議の進め方についても一度整理して示してほしい。

○第1条については、各校区で持ち帰って協議し、次回の協議会で各校区の協議結果を踏まえて、再度協議することを確認する。
なお、次回以降も引き続き協議するために、会長・副会長の選出を行うこととする。

4. 会長、副会長の選出

- ・会長に中島小学校区会長の吉田委員、副会長に荷揚町小学校区会長の瑞木委員、住吉小学校区の江藤委員を選出する。

5. 会長・副会長あいさつ

6. 議事

(1) 地域協議会について

①会場の傍聴に関する要領について

○規約（案）を次回に再度協議することとなったため、傍聴に関する規定については、次回の議事で協議することを確認する。

②協議会の運営について

- ・事務局より、協議会の運営について説明する。

○月に1回程度の開催とすることを確認する。

○会場については傍聴席を確保するため、大分文化会館、アートプラザを中心に調整を行う。なお、時間帯については18:30~20:30のまでの開催を基本とすることを確認する。

③協議会の事務について

- ・事務局より、協議会の事務について説明する。

【委員】協議会通信について、できればPTAとしても内容を確認させてもらいたい。

【事務局】協議会通信を発行する際には、協議会の会長や副会長に内容の確認をさせていただく。また、意見や要望があれば、事務局で対応させていただく。

○事務局（教育企画課）より、委員へ開催案内を送信することを確認する。

○事務局が協議会通信を発行し、小中学校の保護者に配布するとともに、地域住民には回覧板でお知らせする。また、大分市ホームページにも掲載することを確認する。

(2) 地域住民の懸念に対する取組について

- ・これまで教育委員会が行った地域住民の説明会などで、碩田中学校区については、地理的、地質的に地震やそれに伴う津波の発生に対する心配する声が多かった。また、小中一貫教育についても、小中一貫教育とはどういうものなのか、連携型や併設型などの形態などについて、懸念する声が多かった。そこで、防災の観点や小中一貫教育の観点から、こうした住民の不安を解くような取組を地域協議会としてどのように進めるか協議したいと提案がある。

【委員】確かに、防災と小中一貫教育も懸念ではあるが、3校を統合するのか、しないのかというところが最大の懸念だと思う。まずは3校の統合の必要性について、もう一度詳しく説明をしてもらう必要があるのではないかな。

【委員】3校を統合して新設校を創るとなれば、地質の問題や地震や津波の問題などが十分考慮されてなければならない。安全安心な立地条件のもとで設置場所の検討に結びつくような、防災のお話を伺うことも一案ではないかなと思う。

【委員】私たちは小中一貫教育と言われてもよく分からないので、講演するのであれば、メリットとデメリットを平等に私たちに提示してほしい。そうすることで小中一貫教育の判断材料となるのではないかな。

○防災の観点からについては、9月25日（火）18:30~20:30、大分文化会館第2小ホールで講演会を行うことを確認する。

○小中一貫教育の観点からについては、10月3日（水）18:30~20:30、大分文化会館第2小ホールで講演会を行うことを確認する。

(3) その他

- ・第2回の地域協議会を10月23日（火）18:30~20:30、大分文化会館第2小ホールで行う。

4. 閉会のことば